



2019年11月20日  
APTJ株式会社

## OpenSynergy 社が APTJ の Julinar を販売することで合意

### 【発表内容】

APTJ 株式会社(所在地:名古屋市中村区、代表取締役会長:高田広章、代表取締役社長:高嶋博之、以下 APTJ)は、APTJ が開発した AUTOSAR Classic Platform 仕様準拠のソフトウェアプラットフォーム(広い意味での OS、以下 SPF)である Julinar を、OpenSynergy GmbH(本社:ドイツ ベルリン市、社長:Regis Adjamah、以下 OpenSynergy 社)を通じて販売することに関して合意しました。Julinar の販売およびサポートは、APTJ のパートナーソフトウェア企業を通じて行っていますが、OpenSynergy 社は、既存のパートナーソフトウェア企業の二次販売代理店の位置付けとなります。また、今後、APTJ の AUTOSAR 技術と OpenSynergy 社の仮想化技術を融合させ、次世代車載ソフトウェアプラットフォームの構築を加速する方向で、協議を開始することになりました。

OpenSynergy 社は、次世代の自動車のための組込みソフトウェア製品を提供する開発会社です。OpenSynergy 社が提供する仮想化プラットフォームである COQOS Hypervisor SDK は、安全性要件やセキュリティ要件が異なる機能を、1 つの SoC 上に共存させることをサポートするものです。OpenSynergy 社では、Julinar を活用して、AUTOSAR をインテグレート済みの仮想化プラットフォームを提供していく計画です。

Julinar は、車載制御システムの分野で標準となっている AUTOSAR Classic Platform 仕様に準拠したソフトウェアプラットフォームです。2015年9月の APTJ の設立以来、自動車部品メーカーおよび自動車メーカーと共同で開発し、2018年10月に販売を開始したものです。現在、Julinar を使用した ECU 開発も複数進行しており、近い内に市販車に搭載される予定です。

APTJ は、国産 SPF を開発・普及させるという当初の目的を実現するために、海外企業も含めて、より多くの自動車部品メーカーや車載ソフトウェア企業と協力させていただきたいと考えています。

### 【APTJについて】

APTJ 株式会社(APTJ)は、名古屋大学の研究開発成果を活用して、車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム(SPF)の開発・販売を目指す大学発ベンチャー企業です。APTJ の代表取締役会長兼 CTO には、名古屋大学大学院情報学研究科附属組込みシステム研究センター(NCES) センター長/教授の高田広章が就任しています。

APTJ が開発する SPF は、最新の AUTOSAR 仕様をベースとしつつ、名古屋大学の研究開発成果や知見を活用した先端的な機能や実装技術により、機能安全規格、サイバーセキュリティ対策、マルチコアプロセッサに効率的に対応できることを技術的

な特徴とします。この SPF を活用することで、安全で品質の高い車載組込みソフトウェアの開発が効率化され、自動車部品メーカーの競争力向上につながります。詳細については、APTJ のサイト(<https://www.aptj.co.jp/>)をご覧ください。

#### 【お問い合わせ先】

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

APTJ 株式会社 営業サポート部 広報担当:松原  
〒453-6122 名古屋市中村区平池町四丁目 60 番地 12  
グローバルゲート 22 階  
Phone: 052-564-5535 FAX:052-564-5536  
Email: info@aptj.co.jp